



令和6年度の締めくくり ～入試・学習の診断に向けて「はっきよい のこった!」～

令和6年度の3学期、すなわち、令和7年度の0学期が始まり約2週間が過ぎました。この間3年生の私立等の入学試験がほぼ終わり、既に合否結果を受け取ったり、今か今かと結果を待っていたりする状況です。しかし、多くの人にとっては、公立高校自己推薦選抜、高専、公立高校一般選抜等と入試はまだ続きます。

健康に留意し、この3年間の学びの成果を十分に発揮してほしいと只々願うばかりです。

さて、現在行われている大相撲初場所も中日を過ぎ、千秋楽まで後少しとなりました。横綱 照ノ富士引退という寂しいニュースも飛び込んできましたが、勝負は大詰めを迎えているようです。

この大相撲にちなんで、1月8日(水)の始業式では、次のような趣旨の話をしました。

大相撲に力士が欠かせないのはもちろんですが、勝負を裁く「行司」も不可欠です。取組中の「行司」の発する言葉に耳を澄ませると、「はっきよい のこった のこった」と何度も言っているように聞こえます。さて、この言葉にはどんな意味があるのでしょうか。

所説あるようですが、そのうちの一つを紹介します。この音に漢字等を当てはめると「発気用意残った」となり、そして、次のような意味があるそうです。

- ① 「発気」とは、「不発気不生力…**気**を**発**せずんば**力**生かせず」
- ② 「用意」とは、「不用意不成技…**意**を**用**いずんば**技**成らず」
- ③ 「残った」とは、…勝負は最後まで分からない



つまり、こういうことです。

- ① やる気を高め、気力を充実させなければ、力は発揮できません!
- ② 計画や作戦を立てて臨まなければ、もっている知識・技能・考え方は生かせません!
- ③ 勝負は、最後の最後までどうなるか分かりません!

はっきよい のこった
発気用意 残った
 「不**発気**不生**力**」
 (気**を**発**せず**んば **力**生**かせ**ず)
 「よーしやるぞ!」と
気力を充実させよ!

はっきよい のこった
発気用意 残った
 「不用**意**不成**技**」
 (意**を**用**い**ずんば **技**なら**ず**)
「計画や作戦」
 をしっかりと考えて実践せよ!

はっきよい のこった
発気用意 残った
 ↓
今から始まる やる気もて!
今から始まる 準備せよ!

はっきよい のこった
発気用意 残った
まだ勝負はついていない
まだまだ頑張れ!

まさに、受験真っ只中の3年生や、今年度初めてとなる「学習の診断」や最後の学年末テストを控えている1・2年生のもつべき心構えを表していると感じます。受験も「学習の診断」も付け焼刃の学習では到底乗り越えることはできません。また、受験やテストは団体戦と言われます。各学級で学ぶ雰囲気醸成し、その中で個々が計画・作戦を立て、気力を充実させ、最後の最後まであきらめず、素晴らしい成果を得るために「ともにチャレンジ」してほしいと思います。

R 6 香川県中学校新人体育大会結果

競技名	結果
卓球 男子団体	2回戦惜敗

R 6 全日本アンサンブルコンテスト香川県大会結果

部門	結果
打楽器3重奏	金賞
サキソフォン5重奏	金賞
金管6重奏	銅賞